



## 長年 にわたる功績をたたえて 令和4年度白鷹町芸術文化協会表彰式を開催

白鷹町芸術文化協会の新春のつどいに合わせて、芸術文化協会表彰式がパレス松風で開催されました。これは、長年にわたり芸術文化の向上に貢献された方の功績をたたえ表彰を行うものです。

受賞された皆さま誠におめでとうございます。

賞	氏名	加入団体名
芸術文化賞	伊藤 久志さん	池坊たちばな会
	若柳 有治さん	白鷹若柳会
奨励賞	樋口 賢次さん	趣味の盆栽
感謝状	菅間 道雄さん	フォトしらたか
	椎名登美子さん	侃鶯会白鷹支部



左から 若柳さん、椎名さん、伊藤さん、菅間さん、樋口さん



## もうすぐはじまるワクワクの小学校生活！ 新入学児童に町内産のランドセルを贈呈

ランドセル贈呈式が1月中旬から各小学校で行われました。1月25日は東根小学校で行われ、佐藤町長から「春にはこのランドセルを背負い、元気に登校して欲しい」と激励の挨拶の後、ランドセルが贈られました。ランドセルを受け取った新入学児童代表の川井葉久くんは「体育館でいっぱい遊んで、スポーツも頑張りたい。」と、春からの小学校生活に胸を躍らせている様子でした。

この事業は新入学児童の入学を祝いランドセルを贈呈するもので、今年で7年目を迎えました。贈呈されたランドセルは、子どもたちが選んだ色に合わせて、町内のかばん製造業「有限会社らんどーる山形(山口和繁社長)」でひとつひとつ丁寧に作りあげられたものです。



町長からランドセルを受け取る川井くん（東根小学校）



## 情報発信やデザイン方法を学ぶ 白鷹町観光協会「発想ワークショップ」を開催

大手広告会社でコピーライター、クリエイティブプロデューサーを経験された元白鷹町観光交流大使の青木実氏を講師に迎え、白鷹町観光協会の研修会として「発想ワークショップ」が開催され、町内在住、在勤の約20名が参加しました。

新たな商品づくりや、販売プロモーション、情報発信などに活かすためのアイデアや発想方法を学ぶもので、青木氏からは、五感を使って感じることや、多様なアイデアをどんどん出してつなげていくNM法について、ワークショップを通じてわかりやすく教えていただきました。観光協会ではこれからもデザインや情報発信に関するセミナー等を複数回予定しています。



参加者全員で意見を出し合いながら発想方法を学びました。



## 社会を明るくする運動 沼澤 絆さん（荒砥小4年） 作文コンテストで最優秀賞を受賞

山形市総合福祉センターにて開催された“社会を明るくする運動”作文コンテスト表彰式において、荒砥小学校4年生の沼澤絆さんが、山形県の最優秀賞を受賞されました。同コンテストは、次世代を担う小中学生の皆さんに、日常生活の中で犯罪非行について考えたこと、感じたことを表現していただき、更生保護についての理解を深めてもらうことを目的に開催されているものです。

沼澤さんは、ご家族やお友達、地域とのつながりの大切さやそのあたたかさを表現した作文で最優秀賞を受賞されました。また、当日は受賞者を代表し、堂々と作文の朗読発表も行いました。

この度の受賞、誠にありがとうございます。



表彰状を掲げる沼澤絆さん



## 苦難を乗り越え栄光をつかむように 白鷹中学校で「鯉の甘煮」が提供

白鷹中学校2年生による立志の集い「登り鯉の会」が開催され、長井市の高橋鯉店（高橋剛社長）よりご協力いただき、鯉の甘煮を給食で味わいました。

この日は事前に、高橋社長より鯉食文化の歴史や、鯉の食べ方が説明され、激流を登った鯉が竜と化した中国の故事になぞらえ、これから来たる登竜門やさまざまな苦難を乗り越え、栄光をつかんで欲しいと生徒たちを激励しました。

給食では鯉を初めて食べるという生徒も多く、鋭い小骨に気を付けながら、「とても甘く、濃厚でおいしい」と笑顔で味わっていました。



小骨に気を付けながら鯉を食す生徒



## これから始まる入試に向けて 白鷹中3年生が「勝ち鬩鮎」をいただく

白鷹中学校3年生の生徒114人に、道の駅白鷹ヤナ公園あゆ茶屋（樋口和貴駅長）より鮎の塩焼きが贈られました。

毎年受験シーズンになると、入試を控えた生徒に対して進路実現に向けて頑張ってもらいたいという思いを込めて、あゆ茶屋より「勝ち鬩鮎」と称し町の魚である鮎の塩焼きが贈られます。

給食で鮎を頬張った生徒たちは、「とても香ばしくて、おいしい」「勝ち鬩鮎の名前のとおり、良い波にのって入試に向けて頑張りたい」と今後の抱負を力強く語ってくれました。



鮎を頬張る生徒